

西条ロータリークラブ 週報



インスピレーションになるう

週報 2019年3月14日 3月第2例会

例会日 木曜日 グランラセーレ東広島

事務局 東広島商工会議所会館3階

会長 山田 謙慈 幹事 奥本 哲之



本日の例会 第2661回

- 12:30 点鐘 (山田会長)
ロータリーソング 「それでこそロータリー」
お客様の紹介 (廣幡副会長)
会長時間 (山田会長)
お祝い時間
☆結婚記念日
岩井会員 (昭和43年3月20日)
武島会員 (平成8年3月21日)
廣幡会員 (平成15年3月23日)
☆入会記念日
菅生会員 (平成28年3月3日)
☆会社創立記念日
金好会員 (昭和57年3月1日) (有)東広島調剤薬局
武島会員 (平成12年3月14日) 医療法人アソカ
- 12:40 会食時間
出席報告・スマイルボックス発表
委員会報告
幹事報告
- 13:00 本日のプログラム
【東広島市都市部 加藤博明部長】
- 13:30 点鐘 (山田会長)

《幹事報告》

- ★例会終了後、理事会が開催されます。
- ★次回3月21日 (木曜日)の例会は春分の日につき休会です。

お知らせ

★今後の例会スケジュール

- 3月21日(木曜日) **例会休み** (春分の日)
- 3月28日(木曜日) ペッツ報告 小早川会長エレクト
- 4月4日(木曜日) 優秀職業人表彰式 職業奉仕委員会担当
- 4月6日(土曜日) 花見例会 於:蔵処 樽(西条栄町) *11日の例会変更
- 4月18日(木曜日) がん予防推進委員会担当 三木乃慈子委員長
- 4月25日(木曜日) 東広島市総務部危機管理課長「西日本豪雨と東広島市のこれから」
- 5月2日(木曜日) **例会休み** (4月29日祝日振り替え)
- 5月9日(木曜日) 会計監査担当 藤原昭典会員卓話

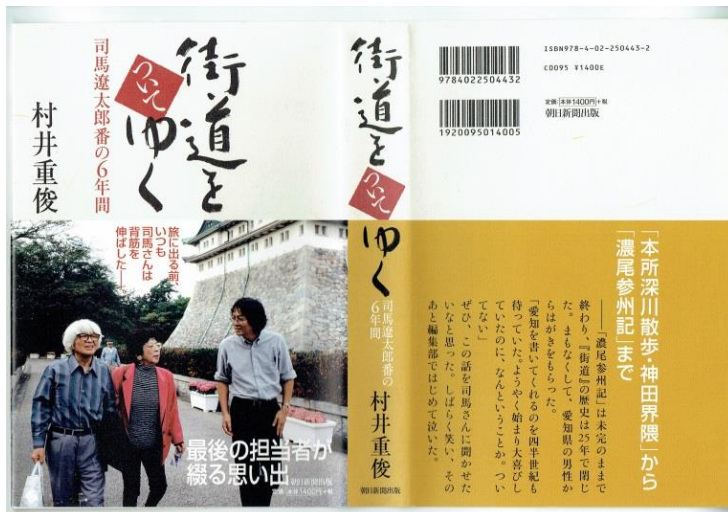


皆さんこんにちは、ご健勝のことお喜び申し上げます。

先週いただきましたロータリーの友3月号「クラブを訪ねて」をじっくりと読ませていただきました。この取材は廣幡副会長、奥本幹事、松重クラブ管理運営委員長のお3方に特に対応をしていただき貴重な時間も割いていただきました。おかげさまで取材の過程の非常にインパクトのある空気も体感させていただきました。本当にありがとうございました。私の大学院時代の恩師からすぐに電話がかかってきて、謙慈先生、頑張っているなあ！と褒めていただきました。また四国のあるロータリークラブの幹事から

メールが入り、クラブの親睦旅行で行き先を検討している中で、当クラブへの例会メーキャップと酒蔵見学、翌日ゴルフなどをしたいのだが、という相談も入ってきました。

またライターの村井さんからは、例会での卓話で紹介された「街道をついてゆく」という著書もいただきました。作家司馬遼太郎にまつわるエピソードも満載であり、今からしっかり読み込もうと楽しみにしています。



さて、本日は本田国際奉仕委員長、奥本幹事、小早川会長エレクトがタイから帰国され元気な顔を見せていただいております。私が参加できず申し訳なかったのですが、山岳民族家庭崩壊児童施設への食料支援活動としてのナマズ養殖池の完成と贈呈式を滞りなく行われたとのこと、本当にお疲れ様でした。後でそのお話を聞かせていただけるとのことです楽しみにしております。

このため本日の会長時間はここまでといたします。

ありがとうございました。





皆さんこんにちは。昨年の11月8日に当クラブへ入会致しました広島銀行西条支店の岩畔と申します。ガンセキのガンにコハンのハンと書いてイワクロと言います。岩畔と名前が変わっております。この名前は倉橋島、今の呉市倉橋町の一集落しかない珍名でありまして、私の父親が商売の関係で大阪府池田市に移住し、私自身は昭和40年に当地で生まれ、幼少期に一時倉橋にいましたが、大半を大阪府池田市で過ごしました。私は名前も変わっておりますが、よく周りの人から「変わり者」と言われます。私は自分自身の性格を「好奇心旺盛な飽き性」と思っておりますが、私の学生時代の友人すべてに「お前が堅い職業の代名詞である銀行員になるとは到底思わなかった。」と言われますし、私が若いころの銀行

の上司からは「お前みたいなやつがよく支店長になれたものだ。広島銀行もお仕舞だ。」とよく言われたものでした。そういう意味で私の半生を語るにおいて、ここにいらっしゃる皆様に私の周りの言い分が正しいかどうかを判断していただければと存じます。

私の父親は呉で役所勤めをしておりましたが、本人曰く、気に入らないことがあって、上司をぶん殴ったとかで、役所をクビになり、止む無く大阪で商売を始めました。こういう気性の荒い性格の子供に産まれた私自身ですから、私の性格は皆さんご推察の通りです。しかしながら父親は私に対しては放任主義でありました。私は小中高の9年間、サッカーをやっておりました。特に秀でた才能も無く、レギュラーと控えを行ったり来たりでありました。その間の素行は決して良くなく、やんちゃで先生にぶん殴られることが多々あり、母親が学校へ呼び出されたことも数回ありました。中でも高校最後のサッカー選手権予選が11月にありまして、大事な試合前の部活の休みの日に高校生の分際で阪神競馬場に友人と遊びに行ったのが、どういうわけかチームの監督にバレまして、最後の大会であるのに、私と友人は出場停止となり、貴重な受験勉強の時間をサッカーに充てておりましたが、こういうことで自らの出場をフイにしまいました。その後、大学に入ることになりましたが、ここでもやりたいことが見つからず、パチンコ三昧の日々で、イマイチ勉強やサークル活動へのやる気も起きず、大学生活の初日、いわゆる入学式も一日中パチンコをしており、見事にサボりました。ここから1年間はほとんど学校に行かず、バイトに明け暮れ、自分探しの旅として1人で海外を放浪するなど勝手気ままに生きておりました。当然1年次の単位もほとんど取得できず、大学中退も考えていた時期にゼミの仲間と麻雀をする機会があり、麻雀の魅力に取り付かれ、勉強を目的に学校に行くのではなく、麻雀をしに学校へ行きだしまして、当時の単位取得に関しては学校さえ行っていれば、出席のダミーを使い、人のノートをコピーするなどして、単位がとれるようになりました。しかし、1年間サボっていたこともあり、通常4年次はほとんど学校へ行かずにすんだのが、1年次を取り返すべく、私は毎日のように学校へ行くことで、単位数ギリギリで4年間での卒業に至りました。

そして、バブル最盛期ということもあり、就職先には全く困りませんでした。メーカー、百貨店など数社から内定もらって決めようとした矢先のお盆すぎにある会社からの面接案内が来ました。自分の中では面接終了ということで落選覚悟の軽い気持ちで受けることを決めまして、面接当日は徹夜麻雀明けで髪ぼさぼさで臨み、面接官がどんな反応するのだろうかと冷やかしか半分受けました、何故だかわかりませんが、この会社からも合格をもらうことに至りました。その会社が今、私が勤めている広島銀行でありました。自分の中では就職に際して特になりたい業種も無く行き先を決めかねておりましたが、あのなめた態度で面接に臨んで、採用してくれる会社は将来どんなに楽なのであろう。と若気の至りで広島銀行に入ろうと自分自身で決意を固めておりました。しかし、ここで今まで放任

主義の父親から「お前の性格では銀行員は無理だ。考え直せ。」と説得されましたが、天邪鬼の私は逆に父親が反対しているからこそ、見返してやろうと、父親に対し「あなたが捨てた故郷に私が錦を飾る。」という決めゼリフで納得させ、広島銀行への就職にOKをもらいました。

その後、入行をしたもののなかなか人間の性格は変わりません。入行後も遅刻、店の鍵を自宅に忘れる、物をなくす、仕事をサボる。全くやる気のない、ダメな銀行員でした。そんな生活が数年経ちました。

こんな私でも変われる契機が訪れました。それは平成7年に起きた阪神大震災です。当時私は入行2カ店目の福山営業本部勤務でした。休日を利用して大阪の実家へ帰っておりました。震災前日に父親を車で送ったのが阪急伊丹駅。友人と遊んだのが阪神競馬場。どちらも地震で原形をとどめず崩れ落ち、極め付けが、たった2時間前に通った阪神高速が跡形もなく崩れ落ちており、その姿をニュースで見た時に命救われたと改めて認識させられ、死者の数、自分の実家回りの悲惨な状況を目の当たりにした時に、私の人生これでいいのかと振り返るきっかけとなり、加えてかみさんとの結婚も決まっていた時期でもあり、このままでは人間としてダメだと心を入れ替え、真面目に仕事に取り組もうと決意を固めたのであります。

その後は本店営業部で債権回収をしており、平成12年に大型企業の倒産が相次ぎ、この債権処理のため、3か月休みなしで毎日、日が変わるのは当たり前という時代でした。次の岡山県笠岡支店は船町であり、来店客は気の荒い人ばかりで毎日、何分待たすのだと吠えられる人のクレーム処理に明け暮れ、次の愛媛県今治支店では、船主と大酒を飲むことで、海運バブルも相俟って、業績を大きく伸ばし、次の本部である融資企画部では融資商品開発、当行全体のポートフォリオ管理を行い、次の東京支店では仕事に疲れてきたところですし、単身赴任でしたので、仕事も一生懸命しましたが、休日も充実させ、最初は東京都内で歌舞伎、相撲、美術館など東京でしか味わえない建物の見学に明け暮れ、2年目はおとなしく、3年目は土日になれば、日本酒を片手に北海道、東北、信州、関東などを鈍行での一人旅を満喫しておりました。そして前職の高陽支店はゴルフの町高陽ということでゴルフ三昧の生活をしており、そしてこの地西条では、今のところ酒浸りの毎日を過ごしております。今まで転勤の都度、引越が絡んでおり、結婚生活22年間で10回以上引越をしており、かみさんからあなたの銀行員生活で一度ぐらいいは引越がないことを経験してみたいとずっとイヤミを言われておりましたので、私の意地で最後の支店勤務になりかねないこの西条という街に毎日広島市西区古江から片道1時間半をかけて通うことを決めました。今現在は酒を飲む機会が多く、ホテルへ泊まることも多々あり、金銭的、肉体的にも非常に後悔しております。

因みに皆さんの会社も部下の育成、指導が大事であると思われます。ロータリアンの皆さんは優秀な方ばかりですので、何かにつけて、今の若いヤツという言葉がでてくるのではないかと。しかし、私は自分自身の若いころと比べれば、みんな優秀なのですね。ですから現在の職場の管理・監督職には部下に対して悪い所ばかり映るけれども、良いところも必ずある。それを見つけて誉めてあげることで、彼らの自信に繋がり、その後、悪い所を是正するようにと指導しております。それは自分の若い時に受けた恩を後世に残してあげたい一心からであります。

私は銀行員生活30年超経過しますが、銀行は今が最も経営環境が厳しく、世間では構造不況業種と言われます。銀行の現況と改善への提言をさせていただければと思います。昨年、みずほフィナンシャルグループ、三菱東京UFJフィナンシャルグループ、三井住友フィナンシャルグループの3メガバンクが大規模なリストラを相次いで発表しました。みずほ銀行は2026年度までにグループの従業員数を1万9000人削減し、現在の約7万9000



人から6万人にするとされています。削減数が今後はずっと増えるのではないかと予想されており、さらに店舗も統廃合をおこない、現在約500拠点ある店舗数を2024年度末までに約100店舗減らす見通しであります。三菱東京UFJ銀行も、国内にある約500店舗のうち1~2割の統廃合を検討しており、業務を見直し、現在3万人の従業員の3割に当たる9500人分の業務を削減するとされています。三井住友銀行も2020年度までに4000人分の業務を削減すると発表しました。なぜ、メガバンクが大規模なリストラを検討しなければならないようになったのか。きっかけは低金利による収益の低下であり、日銀のマイナス金利政策の影響で融資金利が下げ止まらず、加えて投信、保険などの金融商品販売における当局規制がかかるなど、利益が全く稼げない状況にあります。最も深刻なのは、そもそも企業の資金需要が減っているという点であり、銀行の大きな役割の1つに、企業への融資があります。ところが、日本は「成長の時代」が終わり、「成熟の時代」に突入しております。足元の景気は一昨年9月まで拡大期間が58か月となり、高度成長期の「いざなぎ景気」を超え、日経平均株価も節目の2万3000円を26年ぶりに突破しました。しかし、日本の多くの経営者は「先行きが明るい」とは全く思っておりません。東京五輪が開催される2020年あたりまでは好景気は持続するかもしれませんが、その後は急速に悪化するのではないかと懸念しているのです。加えて再びデフレに陥る可能性も囁かれ始めました。しかも、日本は人口減少が進んでおり、国内市場は縮小の一途をたどることは間違いなく、日本の経営者たちは積極的に設備投資をせずに、業績が良くても賃金を上げようとはしません。リーマンショックで培われた大半の経営者の考えです。実際の実質賃金は減少している状況にあります。その結果、企業の内部留保は500兆円を超える規模にまで拡大しました。そのため将来の成長に向けた設備投資に消極的となり、銀行の融資が伸びにくくなっております。しかもこの低金利であり、ますます利益が稼げず、銀行は今、構造改革の待ったなしの状況に追い込まれております。そこで各行は、デジタル化によって業務効率の改善に舵を切りはじめました。AI（人工知能）によって銀行員の事務的な業務の多くが自動化できる。インターネットの普及によって、店舗の数を減らすことができますし、営業の仕事も相当削減できると試算されています。銀行は長い間、国に守られてきました。制度上、預金・貸付・為替決済を行うことができるのは銀行だけであり、しかも1980年代までは、規制によって他業者が銀行業に参入することができませんでした。しかし、この状況は、90年代後半に進んだ「フィンテック」（金融とITの融合）の登場によって打ち崩されつつあります。アメリカの大手銀行であるバンク・オブ・アメリカはフィンテックによって向こう20年以内にさまざまな仕事がロボットに代替され、2500万人が失業するという予測を発表し、アメリカシティバンクが今後10年で3割が職を失うと試算しております。すでに金融機関の大リストラは起こっており、アメリカ証券のゴールドマン・サックスでは2000年に600人いたトレーダーが現在わずか2人になってしまいました。もう一つ大きな問題は、異業種の金融業への参入であり、ゴールドマン・サックスの最高経営責任者は「我々にとって脅威なのは金融業者ではなくIT大手のグーグルである。」と発表しており、今後はIT大手が次々に金融業に参入してくる可能性が大であります。ネット通販で爆発的に拡大したアマゾンも「金融への参入を考えている。」と言っており、利用者の取引状況、購入金額、購入商品などのデータを銀行よりはるかに持っているこんな企業が金融業に参入してくれば、米国のみならず、日本の銀行にとっても大きな脅威となるはずですが、日本でもすでに、セブン銀行やイオン銀行などが誕生し将来の銀行の競争相手がどんどん増しております。しかし、ほんの数年前までは、メガバンクは「フィンテック」が登場し、人員削減の話が出ているが、そんなに減らす必要はない。フィンテックはあくまでも人間の補助であり、判断するのは人間である。人間の仕事が奪われるのではなく、人間の仕事が楽になると捉えるべきである。」と言いながらそれほど危機感を抱いてなく、「これからは店舗の数を減らしていくのか」と尋ねたら、「そんなことはない。やはり、お客様はフェイス・トゥ・フェイスで銀行員と取引しないと不安を感じる。」インターネットでの取引では安心できないだろう。だから、店舗の数もそれほど減ることはない。」と答えていたが、たった1~2年で様変わりしたというわけです。もう一つ、大きな問題があり

まず。日本のフィンテック関連企業への投資額は 6500 万ドルにあり、なんとアメリカの 1%に過ぎず、さらには中国の 30 分の 1。インドの 25 分の 1 でしかなく、日本はフィンテックへの参入において非常に遅れているのであります。フィンテックを味方につけようとも、このままでは日本の銀行は生き残れない。根本的な改革が必要であるとの危機感を持っております。特に最も大きなダメージを受けるのは、地方銀行であり、これからの数年間で、地銀の統合・閉鎖が相次ぐのではないかと予想ができます。この流れを大きく変えることはできず、これからの銀行の生きる道として、資産運用のコンサルタント、あるいは企業経営のコンサルタントにシフトしていくしかなく、銀行の従来の役割である預金や決済・融資もコンサルティングという付加価値がなければ、競合との差別化ができない状況です。これまでは資産運用はどちらかという証券会社が担っておりましたが、今後はいよいよ証券会社も銀行の競合になるわけで、現在、広島銀行も「ひろぎんウツミ屋証券」との協業を第一に取り組んでおります。またこんな話もあります。銀行は融資先が減ってきたことで、新しい金融商品を打ち出しているが、これらのほとんどが外資系の金融機関が作ったものであり、「なぜ自分たちが金融商品を作らないのか？」との質問に「日本の銀行には、そこまでの能力がなかったからだ。」と答えている有様で、日本の銀行は長い間、国に守られすぎていて、自ら金融商品を開発する力も失ってしまったことを露呈しております。証券会社の人「証券会社は働かないと金にならない。銀行は休んでいても、土日でも貸出利息は入ってくるので金になる。楽な商売だ。」とよく言われます。またメガバンクの元頭取に「有能な銀行員か、役に立たない銀行員かは、どこで見分けるのか？」と尋ねたら、「そんなものは簡単である。足を上げさせて靴の裏を見ろ。靴底が減っているのが有能な銀行員である。」と言われました。銀行員は頭を使う必要は全くなく、使うのは足だということであった。しかし、これからの時代は違います。銀行は旧来型のやり方ではダメで、コンサルタントとしての道を探らなければならず、つまり頭脳勝負になるということです。銀行は、非常に大きな転換期を迎えており、構造不況から脱することは相当困難であり、今まさにその瀬戸際にあります。この地域にヒト・モノ・カネの経営資源が充足しなければ、いろいろな戦略が推進できず、その橋渡しが地域金融機関の担う重責であります。本日ご参加の各企業さんの発展が大前提でありますのでどうかよろしくお願い致します。

結びになりますが、現在の私の趣味は「ゴルフ」「食べ歩き」「城めぐり」「スポーツ観戦」などなど「好奇心旺盛な飽き性」であり、競馬、パチンコ、麻雀などのバクチ関係は飽きまして、今では一切やっておりません。現在、かみさんと 2 人暮らしですが、共通の趣味もなく、単なる同居人の状況で、ごはんの時だけ一緒に、あとはそれぞれの部屋で自由にテレビをみたりしております。ロータリーでよく言われる結婚記念日、加えてかみさんの誕生日も全く何もしておりませんというかその日ということも意識の中から消えているという、反省ばかりの日々で、これから将来、2 人きりですので、この辺りを改善していかないといけないと改めて認識させられました。そして自分の息子、広島生まれ育ちの息子は、やはり自分の親の姿は嫌なのか、逆に大阪へ旅立ち、ましてや銀行員ではなく、プログラマーとしての就職を目指しております。父親である私と全く違う世界へ行く息子に改めて自分の性格にそっくりだなと自分の半生を振り返るのであります。

この西条という地に初めて参りましたが、生まれ育ちが灘の横にある池田市。大学が伏見のある京都。この地西条。ということで極端なこじつけではありますが、日本 3 代酒どころという縁を感じながら、当地で頑張る所存です。ロータリアンの皆さんのこれからのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

つたない話でありましたが、長時間のご清聴、誠にありがとうございました。



★米山記念奨学会から感謝状贈呈

・小早川会員



★本人誕生日

・佐々木(正)会員 (昭和 15 年 3 月 12 日)

・本田会員 (昭和 23 年 3 月 25 日)



★お客様の紹介

・米山奨学生 余 盼 盼 さん

・西条RC奨学生 黄 美 玲 さん



スマイル・ボックス (Smile Box) 3月7日例会出宝分

本例会:21,000円
(今年度累計金額657,000円)

スマイル・ボックスへの出宝、
宜しくお願いします。



- ★小早川会員：タイ・ネパールから無事に帰ってきました。
- ★小早川会員：米山奨学生カウンセラー、ご苦労さまでした。
- ★岩井会員：西条RC奨学生カウンセラー、ご苦労さまでした。



スマイル・ボックスって、何???

例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱（ボックス）。

会員、家族、事業場等の慶び事、お祝い事をスマイルしながら披露し、喜びを分かち合い、又失敗したり、迷惑をかけた時もユーモアたっぷりに苦笑し、例会を賑わせて親睦を増進します。

集まったお金は、西条ロータリークラブ奨学金として使われます。

出席報告（3月7日例会）

出席の補填（メイクアップ）

クラブの例会に出席できなかった場合には、例会前後の14日以内に他のロータリークラブの例会に出席すること。出席補填は、訪問先での出席証明を受け取り、自クラブに郵送または直接幹事に提出または申告することで完了します。

近隣ロータリークラブ 休会／例会変更（例会変更時のみ、受付メイクアップ可能）

受付メイクアップ（12:00より30分間）の際は会員証を呈示し、氏名を自署（代理者不可）する。同時間2カ所以上で実施の場合、1カ所でのメイクアップのみ有効。

- ◆会員数 35名
- ◆出席者 26名
- ◆来訪者 2名
- ◆欠席者 7名
- ◆免除者 2名
- ◆2月21日の欠席者 8名
- ◆メイクアップ 8名
- ★出席率 100%
- ★通算出席率 99.70%

- ★3月18日(月) 東広島21RC（休会） 受付なし
- ★3月18日(月) 広島中央RC（例会変更） 受付：リーガロイヤルホテル広島
- ★3月18日(月) 広島廿日市RC（休会） 受付：広島サンプラザ
- ★3月19日(火) 東広島RC（休会） 受付なし
- ★3月20日(水) 広島空港RC（休会） 受付：なし
- ★3月22日(金) 広島城南RC（休会） 受付：メルパルク広島
- ★3月27日(水) 広島陵北RC（例会変更） 受付：リーガロイヤルホテル広島
- ★3月29日(金) 広島城南RC（例会変更） 受付：メルパルク広島
- ★4月1日(月) 東広島21RC（休会） 受付なし
- ★4月5日(金) 広島南RC（例会変更） 受付：リーガロイヤルホテル広島
- ★4月8日(月) 東広島21RC（休会） 受付：グランラッセ東広島

西条ロータリークラブ

創立 1964年5月11日 例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

事務局 東広島商工会議所会館3F 東広島市西条中央7-23-35

TEL(082)420-0320 FAX(082)420-0319

西条RC公式ウェブサイト <http://www.saijo-rc.jp> メール saijorc@eagle.ocn.ne.jp

会長 山田 謙慈 副会長 廣幡 勝祐 幹事 奥本 哲之 副幹事 菅生 一郎